

お知らせ

INFORMATION

2024-04
2024年3月
病体生理研究所

検査受託中止および新規受託項目について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目の受託中止及び、新規項目の受託を開始させていただきますので御案内いたします。

何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託項目】

- ◆ デオキシピリジノリン (DPD) [30765] ...検査実施施設 M
- ◆ I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTX) [30761]
...検査実施施設 M

※詳細は裏面をご参照ください。

《受託開始日》：2024年4月1日（月）受付分より

【検査中止項目】

- ◆ デオキシピリジノリン (DPD) [14285] ...検査案内 P.52 検査実施施設 M
- ◆ I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) [14222]
...検査案内 P.52 検査実施施設 M

※測定方法及び報告様式変更により現コードを中止といたします。

《最終受付日》：2024年3月30日（土）受付分まで

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

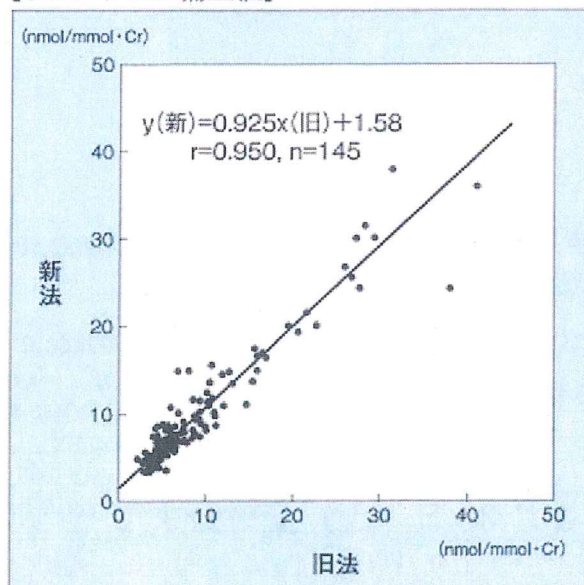
〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2 電話 03-3956-4101 (代表)

【新規項目情報】

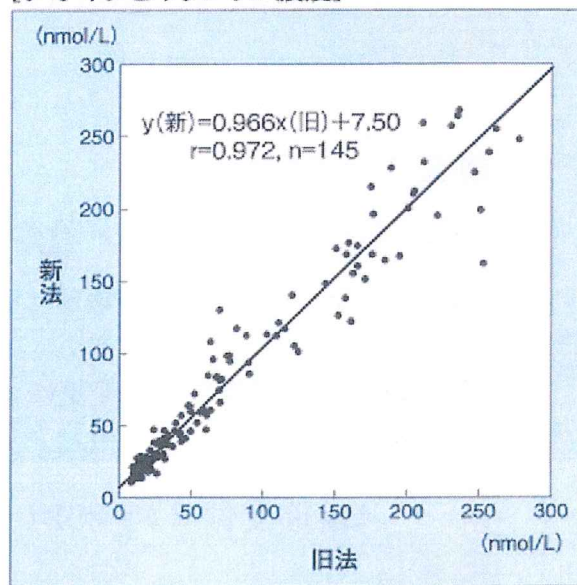
項目名称	デオキシピリジノリン(DPD)	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)	
コード	30765	30761	
検体材料	早朝2番尿 3ml	早朝2番尿 3ml	
保存安定性	冷蔵(7日)	冷蔵(14日)	
検査方法	CLEIA	CLEIA	
基準値 (単位)	DPD Cre 補正值:M:2.1~5.4 F:2.8~7.6 (nmol/mmol.Cre) ※骨粗鬆症判定基準: 骨量低下リスクのカットオフ値:5.9 骨折リスクのカットオフ値:7.6	腫瘍関連検査 基準値 骨吸収亢進の指標:55以上 副甲状腺摘出術の適応:200以上 悪性腫瘍骨転移の指標:100以上 (nmol BCE/mmol.Cre)	骨粗鬆症 正常参考値 閉経前女性:9.3~54.3 閉経後女性:14.3~89.0 男性:13.0~66.2 (nmol BCE/mmol.Cre)
報告様式	DPD 濃度 (nM/L) DPD Cre 補正值 (nM/mM.Cre) クレアチニン値 (mg/dL)	NTX 濃度 (nM.BCE/L) NTX Cre 補正值 (nM/mM.Cre) クレアチニン値 (mg/dL)	
所要日数	3~6日	4~6日	
備考	基準値の変更はございません。 DPD 濃度、Cre 補正值に加え、クレアチニン値の報告をいたします。	検査方法、基準値の変更はございません。 NTX 濃度、Cre 補正值に加え、クレアチニン値の報告をいたします。	

【デオキシピリジノリン新旧法相関図】

[クレアチニン補正值]



[デオキシピリジノリン濃度]



以上